

有限会社広島金具製作所

ポイント

- ◆全従業員参加型で実効性のある「事業継続力強化」に取り組んでいる事例
- ◆デジタル化の推進が「事業継続力強化」の対策強化へと繋がっている事例

所在：広島県福山市南本庄2丁目12番10号

業種：製造業（金属製品製造業）

従業員数：15名（令和5年4月時点）※パート含む



水害のリスク
24時間総雨量572mm
浸水想定 3.0m以上～5.0m未滿
地震のリスク
震度5強以上74%（J-shis マップ）



地域に根差し、ブルーオーシャンを切り開く

HIROKANE ビジョン

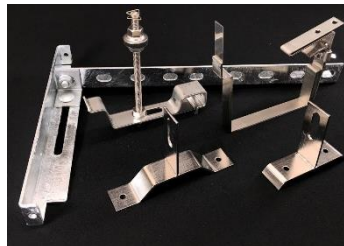
企業の概要について

中四国エリア唯一の雨どい金具メーカー。オリジナル製品は、市場に出回っている従来品より施工時間を1/2～1/10に激減することを可能にし、全国の手先メーカーからも注目を集めている。お客様から喜ばれるものづくりをモットーに、オリジナル製品だけでなく、別注品への対応力も強みとしている。

【オリジナル製品】



【レギュラー製品】



【別注製品】



◆オリジナル製品◆

発想力と技術力を駆使し現場ニーズにマッチした製品開発により生まれた「吊ビタ君」シリーズ。
作業時間の大幅削減を可能とし人手不足の建築業界へ貢献。

なぜ事業継続力強化計画作りに取り組んだのか

広島県のBCPセミナー開催の情報入手と同時期に、西日本豪雨が発生し、災害について対策をする必要性を感じたため。具体的には災害が発生した日、社長は仙台出張から帰社する日であったが、飛行機の復路便が広島が悪天候により着陸できず、仙台へ引き返すこととなり、そこから2日間帰ることができなかった。携帯を通じて情報のやりとりはできたが、社長以外にも現場で代わりに指示できる体制を構築する必要があると強く感じた。

取組の紹介

事前対策

◆ヒト



◎安否確認システムの導入

Workplace チャットセーフティチェック機能を利用して安否確認実施。

→音声電話以外の繋がりやすい安否確認システムを導入することはキーポイント



◎一部の事務業務のテレワーク化

→クラウド会計ソフトを導入することで、実現可能に。



◎社内会議のオンライン化（月1）

→社内の複数箇所でも部門毎に担当者が集合してミーティングにオンライン参加。

資料の準備が不要・耳だけ参加も可能というメリットに気がつき、今後も継続していく。

◆モノ

◎備蓄品の整備



バッテリー



カセットコンロ・ペットシート



緊急簡易ブランケット等



飲料水

◎自動体温測定器の設置（感染症対策）

◆カネ

◎保険の充実

・火災保険、企業財産保険、任意労災保険に加入

◆情報



◎重要な情報はクラウドに保存

💡ポイント

ペットシートは災害時、簡易トイレの吸収剤として活用できます。
消臭・抗菌効果があるものも！

BCPの実効性を高めるための仕組み

◎従業員への意識づけ・定着を図るために

- ・4月上旬新入社員教育にて講習
- ・9月1日防災の日に訓練・演習
- ・訓練・演習後、計画の見直しを行い、新年度に向け新たな指針を策定



2022年はコロナ禍であったため机上演習をおこなった際の資料

◎BCPハンドブックを配布（写真は一部抜粋）

BCP発動基準一覧

地震	広島県南東部において“震度5強”以上の揺れが観測された場合
内水氾濫	福山市西学区において1時間に40mm以上の大雨が観測された場合
洪水	福山市において警戒レベル4が発表された場合

BCPが発動したら

- 就業時間内
職場に保管されている“事業継続計画書”ならびに“初動・復旧対応手順書”の内容に従い行動する。
- 就業時間外
本ハンドブックに記載されている内容に従い行動する。
※いずれの場合も“人命最優先”とし冷静に行動!!

対策本部組織図



BCP事務局(非常招集メンバー)

事務局長	代表取締役
副事務局長	クリエイティブ課長
事務局担当	生産管理部門リーダー
事務局担当	品質管理部門リーダー
事務局担当	総務課リーダー
事務局担当	総務課
事務局担当	総務課

事業継続チーム組織図

対策本部情報収集責任者	クリエイティブ課長
事業継続責任者	生産管理部門リーダー
事業継続責任者	生産管理部門リーダー
事業継続責任者	品質管理部門リーダー
事業継続チームメンバー	
	生産管理部門
	生産管理部門
	生産管理部門
	生産管理部門
	総務課リーダー
	総務課

BCP対応 ハンドブック

氏 名:

血液型:

持 病:



有限会社 広島金具製作所
https://www.hirokane-m.co.jp/

〒720-0077 広島県福山市南本庄 2-12-10
TEL 084-923-2266 / FAX 084-923-2608

代表取締役とメイン担当者からのメッセージ

広島県のセミナーを受講し、そこで得た知識を元に事業継続力強化計画を策定しました。

初めは、何から手をつけて良いのか分からず作業が全く進まずに悪戦苦闘した時期もありましたが、何度も自身で作成をしたたたき台を読み返し、次第に自社にあった等身大の計画書を作ろうと視点を変えることで、スムーズに策定が進むようになりました。セミナーの机上演習に参加した各部のリーダーと発災時の懸念事項を話し合い、具体的な動きを落とし込むという作業をすることで、全従業員が自分事として取り組むことができるようになったと思います。

(高田さん)

策定のきっかけは、西日本豪雨の被災時の経験で事業継続に対する意識が芽生えた事でした。

担当者だけではなく、従業員の約半数がセミナーの机上演習へ参加し、社内へフィードバックすることで、従業員の理解度の高い計画になりました。

年1回演習の機会を設け、計画をブラッシュアップし、策定して終わりにならない体制を構築したので、今後も改善を行いながら、実効性のある取り組みを続けて参ります。(水ノ上代表取締役)



高田さんと代表取締役の水ノ上さん